

2014年度
決算説明資料

2015年5月12日
旭化成株式会社

1. 2014年度実績

主要決算数値	P4～5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
連結貸借対照表	P9
連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費	P10
新セグメント別売上高・営業利益	P11
事業別売上高・営業利益	P12～15

2. 2015年度業績予想

当期の業績予想	P17
セグメント別売上高・営業利益	P18
事業別売上高・営業利益	P19～21

3. 参考資料

事業別業績推移	P23～24
事業別設備投資額、 減価償却費、研究開発費	P25
設備投資件名	P26
2014年度事業別概況	P27～39
連結包括利益計算書	P40

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

1. 2014年度実績

主要決算数値(1)

AsahiKASEI

(億円)

	13年度	14年度		対前年度 (b-a)		対最新予想 (b-c)	
	a	実績 b	最新予想*1 c	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	18,978	19,864	19,910	886	4.7%	-46	-0.2%
営業利益	1,433	1,579	1,580	146	10.2%	-1	-0.0%
経常利益	1,429	1,665	1,640	237	16.6%	25	1.6%
当期純利益	1,013	1,057	1,030	44	4.3%	27	2.6%

*1 2015年2月時点の予想

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	67,325	63,450	62,950
為替レート (相場平均:¥/US\$)	100	110	109

	14/3月末	15/3月末
総資産	19,151	20,145
自己資本	9,127	10,827
有利子負債残高	3,039	2,690
D/Eレシオ	0.33	0.25

増減
994
1,700
-349
-0.08

主要決算数値(2)

	13年度	14年度
1株当たり当期純利益(EPS)	72.48円	75.62円
1株当たり年間配当金	17円	19円
配当性向	23.5 %	25.1 %
総資産利益率(ROA)	5.5 %	5.4 %
自己資本利益率(ROE)	11.7 %	10.6 %
1株当たり純資産(BPS)	653.15円	775.05円

<連結対象範囲>

連結子会社数	131	140
持分法適用会社数	40	37

期末人員	29,127人	30,313人
------	---------	---------

連結損益計算書

AsahiKASEI

(億円)

(%は売上高比率)	13年度	14年度
売上高	100.0% 18,978	100.0% 19,864
売上原価	73.0% 13,857	72.5% 14,393
売上総利益	27.0% 5,121	27.5% 5,471
販管費	19.4% 3,687	19.6% 3,891
営業利益	7.6% 1,433	8.0% 1,579
営業外損益	-5	86
(内、金融収支)	(14)	(22)
(内、持分法投資損益)	(-18)	(17)
(内、為替差益)	(4)	(52)
経常利益	7.5% 1,429	8.4% 1,665
特別損益	210	-81
税前利益	8.6% 1,639	8.0% 1,584
法人税等	-618	-515
少数株主損益	-8	-12
当期純利益	5.3% 1,013	5.3% 1,057

増減額	増減率
886	4.7%
536	3.9%
350	6.8%
204	5.5%
146	10.2%
91	
(8)	
(35)	
(48)	
237	16.6%
-291	
-54	-3.3%
102	
-4	
44	4.3%

金融収支・有利子負債残高

(1) 金融収支

(億円)

	13年度	14年度	増減
支払利息	-34	-31	3
受取利息	12	14	2
受取配当金	37	39	2
その他	-1	-1	-0
合 計	14	22	8

(2) 有利子負債残高

(億円)

	14/3月末	15/3月末	増減
短期借入金	1,036	960	-76
コマーシャル・ペーパー	100	-	-100
長期借入金	1,460	1,304	-156
社債	400	400	-
リース債務	42	26	-16
合 計	3,039	2,690	-349

特別損益

AsahiKASEI

(億円)

	13年度	14年度	増減
投資有価証券売却益	3	28	24
固定資産売却益	17	4	-13
受取損害賠償金	535	-	-535
特別利益	555	31	-524
投資有価証券売却損	-	1	1
投資有価証券評価損	12	11	-1
固定資産処分損	56	47	-8
減損損失	4	13	8
事業構造改善費用	225	40	-185
開発中止に伴う損失	48	-	-48
特別損失	345	112	-233
特別損益	210	-81	-291

連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	14/3月末	15/3月末	増減		14/3月末	15/3月末	増減
流動資産	8,904	8,916	12	負債	9,893	9,168	-725
現金及び預金	1,515	1,238	-277	流動負債	5,768	5,074	-693
受取手形及び売掛金	3,167	3,256	89	固定負債	4,125	4,094	-32
棚卸資産	3,285	3,397	111	純資産	9,258	10,977	1,720
その他	937	1,025	88	株主資本	8,156	8,790	634
固定資産	10,247	11,230	983	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,805	5,025	220	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	2,584	2,861	277	利益剰余金	6,354	6,993	639
投資その他の資産	2,857	3,344	486	自己株式	-26	-30	-4
				その他の包括利益累計額	971	2,036	1,065
				少数株主持分	131	151	20
資産合計	19,151	20,145	994	負債純資産合計	19,151	20,145	994

連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

AsahiKASEI

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	13年度	14年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	2,442	1,376
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-1,038	-1,005
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	1,404	371
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-1,051	-740
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	33	55
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	386	-314

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,040	1,431
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	5	6
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,431	1,123

(2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	13年度	14年度
設備投資額(有形)	825	783
設備投資額(無形)	99	109
設備投資額計	924	891
減価償却費(有形と無形(除く、のれん)の合計)	861	861
減価償却費(のれん償却額)	88	93
減価償却費	949	954
研究開発費	711	755

新セグメント*1別売上高・営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益			14年度最新予想*2	
	13年度	14年度	増減	13年度	14年度	増減	売上高	営業利益
ケミカル・繊維	9,125	9,546	421	474	646	172	9,580	635
住宅・建材	5,894	6,038	144	685	630	-55	6,040	625
エレクトロニクス	1,450	1,504	54	142	143	1	1,520	160
ヘルスケア	2,324	2,571	247	267	308	41	2,560	305
その他	185	205	20	17	9	-8	210	15
消去又は全社	-	-	-	-153	-158	-5	-	-160
合計	18,978	19,864	886	1,433	1,579	146	19,910	1,580

*1 2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4つの報告セグメント区分による開示に変更した。新セグメントの営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

*2 2015年2月時点の予想

事業別*1売上高・営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益			14年度最新予想*2	
	13年度	14年度	増減	13年度	14年度	増減	売上高	営業利益
ケミカル	7,916	8,243	327	389	542	153	8,270	540
繊維	1,209	1,303	94	86	105	19	1,310	95
住宅	5,344	5,518	174	630	592	-38	5,510	585
建材	550	520	-30	55	41	-15	530	40
エレクトロニクス	1,450	1,504	54	142	143	1	1,520	160
医薬・医療	1,525	1,465	-61	303	267	-35	1,470	265
クリティカルケア	798	1,106	308	-35	41	76	1,090	40
その他	185	205	20	17	9	-8	210	15
消去又は全社	-	-	-	-153	-161	-8	-	-160
合計	18,978	19,864	886	1,433	1,579	146	19,910	1,580

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 2015年2月時点の予想

事業別*1売上高・営業利益増減要因(1)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度	14年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	7,916	8,243	327	213	-20	243	134	-
	営業利益	389	542	153	4			-	169
繊維	売上高	1,209	1,303	94	41	30	20	23	-
	営業利益	86	105	19	16			-	-27
住宅	売上高	5,344	5,518	174	55	116	-	4	-
	営業利益	630	592	-38	8			-	-162
建材	売上高	550	520	-30	-36	6	-	-	-
	営業利益	55	41	-15	-9			-	-11
エレクトロニクス	売上高	1,450	1,504	54	121	-67	69	-	-
	営業利益	142	143	1	59			-	9

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

事業別*1売上高・営業利益増減要因(2)

(億円)

		13年度	14年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
医薬・医療	売上高	1,525	1,465	-61	-26	-34	18	-	-
	営業利益	303	267	-35	-18			-	17
クリティカルケア	売上高	798	1,106	308	231	-1	-4	78	-
	営業損益	-35	41	76	166			-	-89
その他	売上高	185	205	20	20	-	-	-	-
	営業利益	17	9	-8	1			-	-9
消去又は全社	営業損失	-153	-161	-8	-	-	-	-	-8
合計	売上高	18,978	19,864	886	619	29	346	238	-
	営業利益	1,433	1,579	146	228			-	-112

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

事業別*1売上高・営業利益(海外売上高)

(億円)

	13年度			14年度			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
ケミカル	7,916	3,548	44.8%	8,243	3,741	45.4%	193	5.4%
繊維	1,209	483	39.9%	1,303	557	42.8%	75	15.5%
住宅	5,344	-	-	5,518	-	-	-	-
建材	550	-	-	520	-	-	-	-
エレクトロニクス	1,450	904	62.4%	1,504	956	63.6%	52	5.7%
医薬・医療	1,525	352	23.1%	1,465	374	25.5%	22	6.2%
クリティカルケア	798	793	99.3%	1,106	1,095	99.0%	302	38.1%
その他	185	7	3.7%	205	10	4.6%	3	39.1%
合 計	18,978	6,087	32.1%	19,864	6,733	33.9%	646	10.6%
東アジア地域*2への売上高		3,405	17.9%		3,535	17.8%	130	3.8%
(内、中国への売上高)		1,872	9.9%		1,940	9.8%	68	3.6%

<参考>住宅・建材を除いた売上高 13,084 6,087 46.5% 13,826 6,733 48.7%

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 中国、韓国、台湾

2. 2015年度業績予想

当期の業績予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度	14年度			15年度(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	18,978	9,669	10,195	19,864	9,590	10,410	20,000	136
営業利益	1,433	709	870	1,579	705	935	1,640	61
経常利益	1,429	742	924	1,665	715	950	1,665	-0
当期純利益	1,013	495	561	1,057	440	620	1,060	3

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	67,325	70,400	56,500	63,450	50,000	50,000	50,000	-13,450
為替レート(相場平均:¥/\$)	100	103	117	110	115	115	115	5

	13年度	14年度	15年度
1株当たり年間配当金	17円	19円	20円 (予定)
配当性向	23.5%	25.1%	26.4%

セグメント別売上高・営業利益

AsahiKASEI

<セグメント別売上高>

(億円)

	14年度			15年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル・繊維	4,775	4,772	9,546	4,470	4,470	8,940	-606
住宅・建材	2,825	3,213	6,038	2,820	3,540	6,360	322
エレクトロニクス	740	764	1,504	800	810	1,610	106
ヘルスケア	1,214	1,357	2,571	1,380	1,480	2,860	289
その他	116	89	205	120	110	230	25
合計	9,669	10,195	19,864	9,590	10,410	20,000	136

<セグメント別営業利益*1>

(億円)

	14年度			15年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル・繊維	266	380	646	325	345	670	24
住宅・建材	288	343	630	235	395	630	-0
エレクトロニクス	74	69	143	80	85	165	22
ヘルスケア	150	159	308	145	190	335	27
その他	7	2	9	0	5	5	-4
消去又は全社	-75	-83	-158	-80	-85	-165	-7
合計	709	870	1,579	705	935	1,640	61

*1 セグメント別の営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

事業別*1売上高

AsahiKASEI

(億円)

	14年度			15年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	4,131	4,112	8,243	3,810	3,800	7,610	-633
繊維	644	660	1,303	660	670	1,330	27
住宅	2,560	2,958	5,518	2,540	3,260	5,800	282
建材	265	255	520	280	280	560	40
エレクトロニクス	740	764	1,504	800	810	1,610	106
医薬・医療	733	732	1,465	750	750	1,500	35
クリティカルケア	481	625	1,106	630	730	1,360	254
その他	116	89	205	120	110	230	25
合 計	9,669	10,195	19,864	9,590	10,410	20,000	136

*1 2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

事業別*1 営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	14年度			15年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	220	323	542	270	290	560	18
繊維	47	58	105	55	55	110	5
住宅	270	323	592	210	370	580	-12
建材	21	20	41	25	25	50	9
エレクトロニクス	74	69	143	80	85	165	22
医薬・医療	147	120	267	125	130	255	-12
クリティカルケア	3	38	41	20	60	80	39
その他	7	2	9	0	5	5	-4
消去又は全社	-78	-83	-161	-80	-85	-165	-4
合 計	709	870	1,579	705	935	1,640	61

*1 2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

当期業績の見通し

	業績(億円)		見通し
	14年度	15年度予	
ケミカル	売上高 8,243 営業利益 542	7,610 560	石油化学系事業で、スチレンモノマーの販売量減少やアクリロニトリルの市況悪化を見込むものの、高機能ポリマー系事業の合成ゴムやエンジニアリング樹脂、高付加価値系事業の各製品において販売量の増加を見込むことなどから、減収・増益となる見通し。
繊維	売上高 1,303 営業利益 105	1,330 110	不織布事業やポリウレタン弾性繊維「ロイカ」、再生セルロース繊維「ベンベルグ」で販売量の増加を見込むことにより、増収・増益となる見通し。
住宅	売上高 5,518 営業利益 592	5,800 580	集合住宅「ヘーベルメゾン」や不動産部門の分譲マンション「アトラス」の販売量が増加するものの、施工費や資材費の増加などを見込むことにより、増収・減益となる見通し。
建材	売上高 520 営業利益 41	560 50	軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル」や高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」の販売量の増加を見込むことなどから、増収・増益となる見通し。
エレクトロニクス	売上高 1,504 営業利益 143	1,610 165	電子部品系事業は、円安の効果やスマートフォン向け電子部品の販売が堅調に推移することを見込む。電子材料系事業は、販売価格下落の影響を受けるものの、円安の効果に加え、各製品において高機能製品を中心に販売量の増加を見込む。全体で増収・増益の見通し。
医薬・医療	売上高 1,465 営業利益 267	1,500 255	医薬事業は、骨粗鬆症治療剤「テリボン」などの販売量が増加するものの、研究開発費などの販管費の増加を見込む。医療事業では、ウイルス除去フィルター「プラノバ」を中心に販売量の増加を見込む。全体で増収・減益となる見通し。
クリティカルケア	売上高 1,106 営業利益 41	1,360 80	営業活動強化に伴う販管費が増加するものの、着用型自動除細動器「LifeVest」を中心に引き続き業績の拡大を見込むことにより、増収・増益となる見通し。

3. 参考資料

事業別*1売上高推移

AsahiKASEI

(億円)

	13年度				14年度				15年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期 予想	下期 予想
ケミカル	1,931	2,039	2,014	1,932	1,969	2,162	2,179	1,933	3,810	3,800
繊維	288	310	301	310	309	335	329	331	660	670
住宅	984	1,400	1,218	1,742	1,055	1,505	1,242	1,716	2,540	3,260
建材	131	147	150	122	123	142	141	114	280	280
エレクトロニクス	365	382	366	337	358	382	399	365	800	810
医薬・医療	383	375	412	356	357	375	397	335	750	750
クリティカルケア	178	198	201	222	233	249	298	327	630	730
その他	40	40	45	60	69	48	46	43	120	110
合 計	4,300	4,890	4,707	5,081	4,471	5,198	5,031	5,163	9,590	10,410

*1 2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

事業別^{*1}営業損益推移

AsahiKASEI

(億円)

	13年度				14年度				15年度	
	1Q ^{*2}	2Q ^{*2}	3Q ^{*2}	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期 予想	下期 予想
ケミカル	102	130	100	57	71	149	180	142	270	290
繊維	22	22	23	18	22	25	26	32	55	55
住宅	66	199	122	242	84	185	119	204	210	370
建材	13	17	20	5	9	12	14	6	25	25
エレクトロニクス	38	55	36	14	40	34	59	10	80	85
医薬・医療	90	74	100	39	81	66	93	27	125	130
クリティカルケア	-15	-5	-7	-8	-3	6	24	14	20	60
その他	4	4	2	8	4	3	2	1	0	5
消去又は全社	-37	-36	-40	-40	-42	-36	-39	-44	-80	-85
合 計	283	459	356	335	266	443	478	392	705	935

*1 2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期、第2四半期および第3四半期の金額を遡及修正している。

事業別^{*1}設備投資額、減価償却費、研究開発費

AsahiKASEI

(億円)

	設備投資額			減価償却費 ^{*2}			研究開発費		
	13年度	14年度	15年度 予想	13年度	14年度	15年度 予想	13年度	14年度	15年度 予想
ケミカル	308	319	350	311	288		152	152	
繊維	80	98	135	59	68		31	30	
住宅	87	92	70	59	65		22	23	
建材	64	17	15	22	30		9	8	
エレクトロニクス	146	116	160	143	139		164	171	
医薬・医療	95	65	70	100	89		197	214	
クリティカルケア	87	101	110	100	112		62	83	
その他	14	14	15	10	11		1	1	
消去又は全社	45	69	75	57	59		75	73	
合 計	924	891	1,000	861	861	930	711	755	840

のれん償却額 88 93

*1 2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 有形固定資産、無形固定資産(除く、のれん)の償却額を合算した金額で開示している。

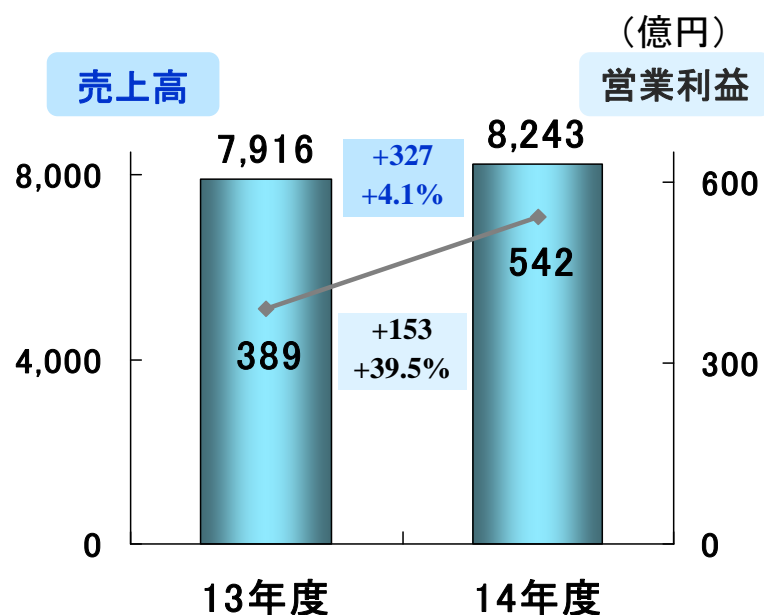
<14年度完工件名>

- ・再生セルロース繊維「ベンベルグ」の製造設備増設(13/4~14/5、宮崎県・延岡市)
- ・ポリカーボネートジオール(PCD)「デュラノール」の生産設備新設(14/春~14/11、3千トン/年、中国)

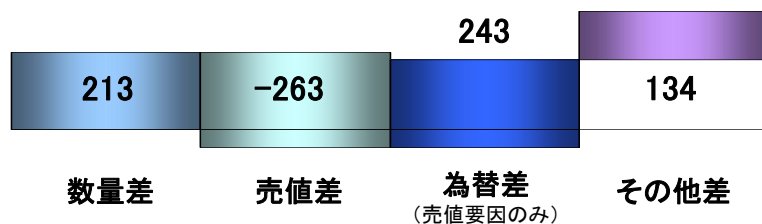
<14年度末時点 工事中件名>

- ・溶液重合法SBRの製造設備第2系列増設(13/4~15年前半、5万トン/年、シンガポール)
- ・ヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)系ポリイソシアネート「デュラネート」の生産設備増設(13年秋~15年初、1万トン/年、中国)
- ・光学用新規透明樹脂「AZP」の生産設備新設(14/6~15年前半、数千トン/年、千葉県・袖ヶ浦市)
- ・スパンボンド不織布製造設備増設(14/6~15/11、2万トン/年、タイ)
- ・北米樹脂コンパウンド第2工場新設(14/第3四半期~16年初頭、3万トン/年、米国)

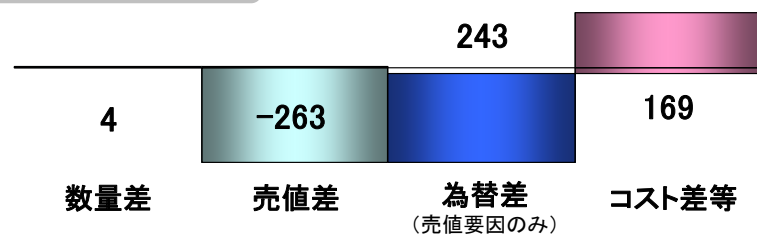
○:投資額30億円以上



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・石油化学系事業

スチレンモノマーの市況が悪化したが、国内石油化学事業の基盤強化による効果に加え、アクリロニトリルにおいて市況が堅調に推移し、また原燃料価格が下落したことにより、交易条件が大幅に改善したことなどから、前期比増収、増益となった。

・高機能ポリマー系事業

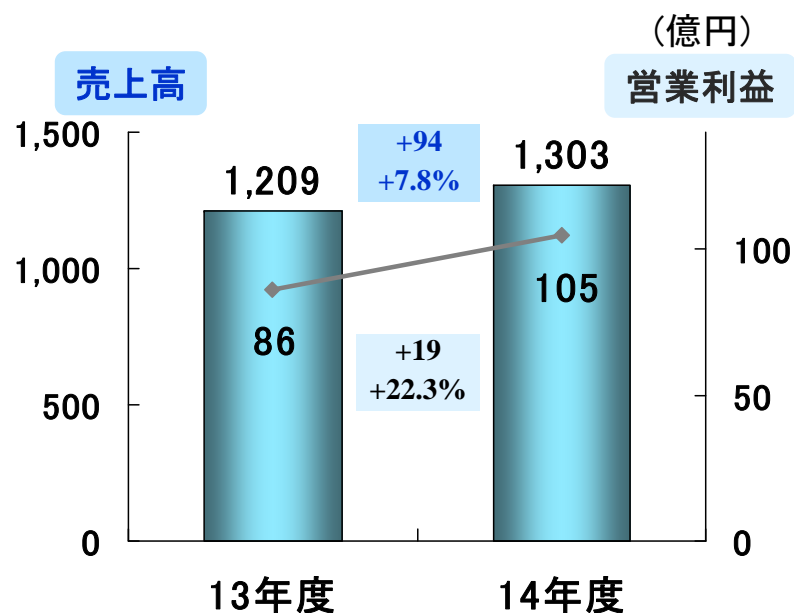
合成ゴムでは汎用品の市況悪化の影響を受けたものの、円安の効果に加え、エンジニアリング樹脂の販売が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

・高付加価値系事業

「サララップ」を中心とした消費財製品で消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響を受けたが、イオン交換膜の販売が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・米国において樹脂コンパウンドの第2工場を新設することを決定。(5月)
- ・複屈折ゼロを実現した光学用新規透明樹脂「AZP」を開発し、生産設備を新設することを決定。(6月)
- ・中国におけるポリカーボネートジオール(PCD)「デュラノール」の生産設備が稼働を開始。(11月)
- ・ポリカーボネート樹脂の原料であるジフェニルカーボネート(DPC)の新製法として、二酸化炭素とアルコールから製造するジアルキルカーボネート(DRC)を経由した製造プロセスを開発。水島製造所内に実証プラントを建設することを決定。(1月)
- ・シンガポール最大の下水回収プラントであるチャンギ・ニューウォータープラント第Ⅱ期で、水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザ」の採用が決定。(2015年4月)



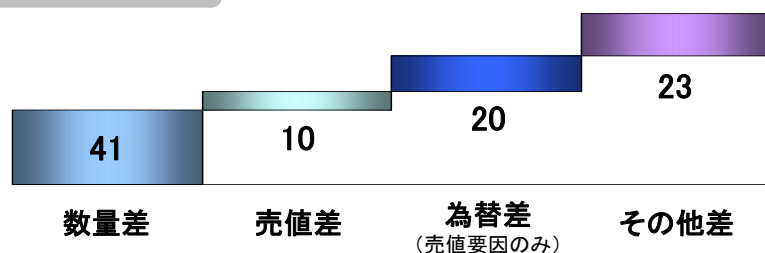
<概況>

再生セルロース繊維「ベンベルグ」の新製造設備の償却費が増加したが、円安の効果に加え、フェイスマスク向けなどの長繊維セルロース不織布「ベンリーゼ」やカーシート向けなどの人工皮革「ラムース」、ポリウレタン弾性繊維「ロイカ」の販売が順調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

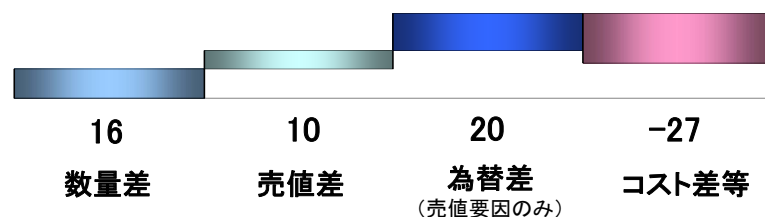
<トピックス>

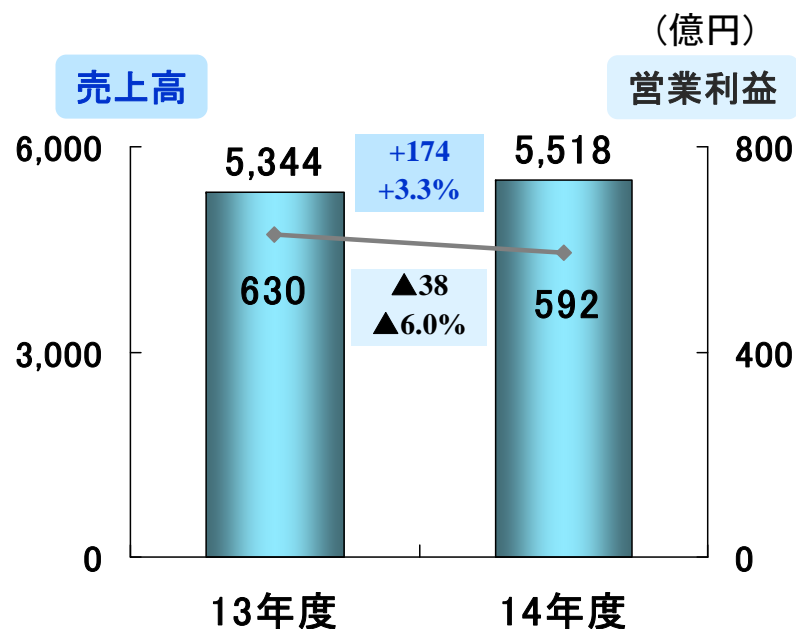
- ・タイにおけるスパンボンド不織布製造設備の増設を決定。(5月)
- ・「ベンベルグ」の製造設備の増設が完了し、商業運転を開始。(6月)
- ・「ロイカ」を用いた伸縮する電線「ロボ電」の販売開始。(9月)
- ・「ベンベルグ裏地ミュージアム+」を開設。(10月)
- ・免疫クロマト診断薬などの発色剤用途として、セルロースナノ微粒子「ナノアクト」の本格生産・販売を開始。(12月)

売上高増減分析



営業利益増減分析





部門別増減分析

(億円)

	13年度		14年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	3,941	491	4,042	436	101	▲55
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	858	58	920	69	62	10
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	526	65	536	63	10	▲2
その他住宅周辺事業等	19	16	20	25	1	9
合計	5,344	630	5,518	592	174	▲38

<概況>

・建築請負部門

- ・前年度の好調な受注実績を背景に、集合住宅「ヘーベルメゾン」を中心に引渡戸数が増加したものの、資材費や販売促進費などの販管費が増加したことから、前期比増収、減益となった。
- ・建築請負部門の受注高は、14年4-9月までは、消費税増税前の駆け込み需要の反動があったものの、14年10月以降に回復し、集合住宅を中心に順調に推移したことを受け、前年比1.0%増で、過去最高の受注となった。

・不動産部門、リフォーム部門等

リフォーム部門で消費税増税前の駆け込み需要の反動により受注が減少したが、不動産部門で賃貸管理事業が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・重量鉄骨3階建て住宅「ヘーベルハウス フレックス」に、新開発の震動の吸収性に優れたオイルダンパーを組み込んだ制震装置「サイレス」を標準採用。(5月)
- ・「ヘーベルハウス」の空間自由度の向上と外観バリエーションの拡充を図るため、切妻形状を導入した3階建て「ヘーベルハウス カットアンドゲブル」(8月)、縦空間のつながりを活かした3階建て「ヘーベルハウス テラクラフト」(11月)、寄棟屋根2階建て「ヘーベルハウス ソフィット」(11月)を発売。
- ・ベトナムにおいて共同出資法人を設立し、主要構造躯体以外の各種鉄骨部材に関し、旭化成ホームズグループ初の海外生産を開始することを決定。(3月)

住宅／売上高*1、受注高の状況

AsahiKASEI

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他	関係会社等	連結計	受注残
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030
	下期	1,825 (5.6%)	1,937 (9.7%)	118 (▲35.7%)		465 (14.2%)	2,520 (6.9%)	3,918
	通期	3,719 (4.9%)	3,396 (12.4%)	237 (▲14.7%)		887 (11.8%)	4,520 (10.4%)	

		請負受注高	建築請負 部門売上高	不動産 部門売上高				リフォーム 部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
12	上期	2,075 (9.5%)	1,614	44	233	11	288	216	12	2,130 (6.5%)	4,415
	下期	2,049 (12.3%)	2,059	162	245	11	419	247	7	2,731 (8.4%)	4,446
	通期	4,124 (10.9%)	3,673	206	478	22	706	463	19	4,862 (7.6%)	
13	上期	2,519 (21.4%)	1,810 (12.1%)	45	262	14	321	245	8	2,384 (11.9%)	5,199
	下期	1,694 (▲17.3%)	2,131 (3.5%)	248	279	11	537	281	11	2,960 (8.4%)	4,815
	通期	4,213 (2.2%)	3,941 (7.3%)	293	541	25	858	526	19	5,344 (9.9%)	
14	上期	2,176 (▲13.6%)	1,879 (3.9%)	98	293	14	406	263	11	2,560 (7.4%)	5,163
	下期	2,080 (22.8%)	2,162 (1.5%)	180	318	16	514	273	9	2,958 (▲0.1%)	5,145
	通期	4,257 (1.0%)	4,042 (2.6%)	278	611	31	920	536	20	5,518 (3.3%)	
15予	通期	4,470 (5.0%)	4,085 (1.1%)	415	695	30	1,140	555	20	5,800 (5.1%)	5,655

*1 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

住宅(1)

1. 2014年度 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	2,171	-4.0%	7,132	-4.4%	2,117	-3.7%	7,165	-0.4%
	中層	866	1.4%	3,459	3.4%	986	-3.9%	4,066	0.4%
	小計	3,037	-2.6%	10,591	-2.0%	3,102	-3.8%	11,231	-0.1%
集 合 系	低層	328	18.3%	2,533	16.0%	412	16.5%	3,202	14.8%
	中層	561	25.1%	4,331	29.2%	742	16.9%	5,677	18.7%
	小計	890	22.5%	6,864	24.0%	1,154	16.8%	8,879	17.3%
建築請負事業合計		3,927	2.2%	17,455	6.8%	4,257	1.0%	20,110	6.9%
その他*1		115	17.5%	29	-19.4%	-	-	-	-
建築請負部門合計		4,042	2.6%	17,484	6.8%	4,257	1.0%	20,110	6.9%

*1 一部分譲事業(「街かどヘーベルハウス」分譲、売建分譲)及び損害保険手数料収入等。

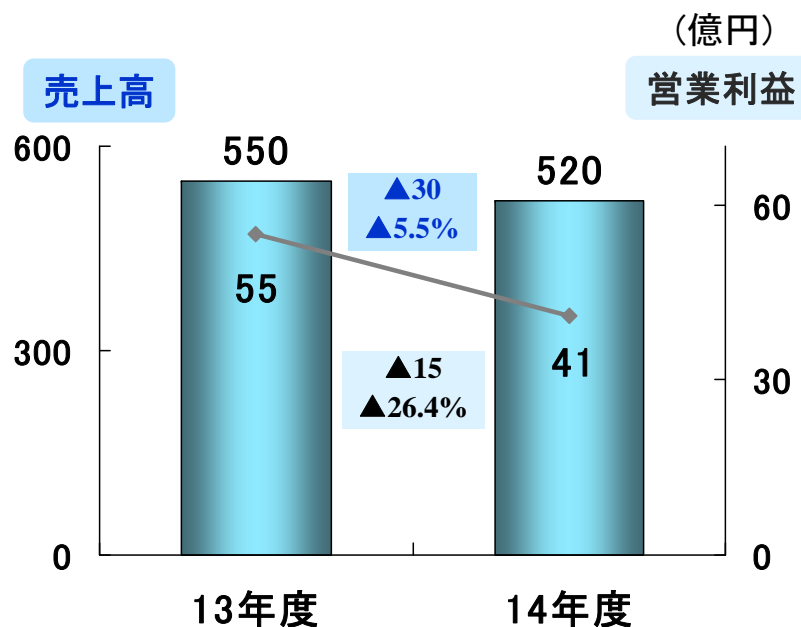
住宅(2)

2. 2015年度予想 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	1,876	-13.6%	6,570	-7.9%	2,220	4.9%	7,510	4.8%
	中層	943	8.8%	4,070	17.7%	1,040	5.5%	4,300	5.8%
	小計	2,819	-7.2%	10,640	0.5%	3,260	5.1%	11,810	5.2%
集 合 系	低層	407	24.0%	3,250	28.3%	430	4.4%	3,360	4.9%
	中層	734	30.7%	5,720	32.1%	780	5.1%	6,000	5.7%
	小計	1,141	28.2%	8,970	30.7%	1,210	4.8%	9,360	5.4%
建築請負事業合計		3,960	0.8%	19,610	12.3%	4,470	5.0%	21,170	5.3%
その他*1		125	9.1%	40	37.9%	-	-	-	-
建築請負部門合計		4,085	1.1%	19,650	12.4%	4,470	5.0%	21,170	5.3%

*1 一部分譲事業(「街かどヘーベルハウス」分譲、売建分譲)及び損害保険手数料収入等。



<概況>

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル」が堅調に販売量を伸ばしたが、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」の販売量が消費税増税前の駆け込み需要の反動で減少したことに加え、新製造設備の償却費が増加したことなどから、前期比減収、減益となった。

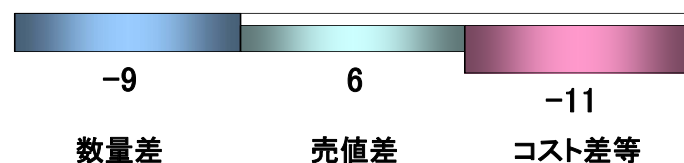
<トピックス>

- ・住みながらの施工が可能な断熱リフォーム専用ボード「ネオマ断熱ボード」を発売。(6月)

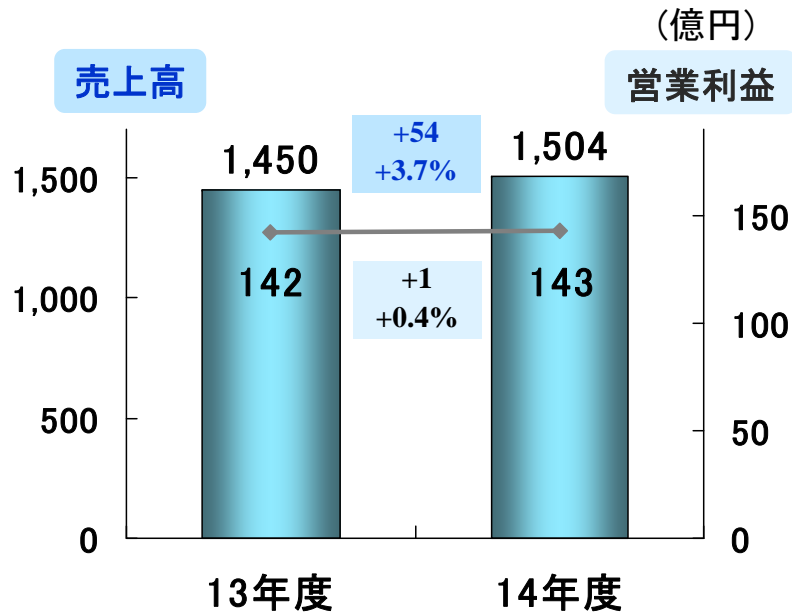
売上高増減分析



営業利益増減分析



エレクトロニクス概況



<概況>

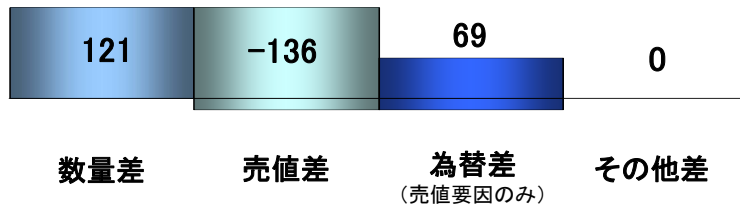
・電子部品系事業

円安の効果に加え、スマートフォン向け電子部品の販売が順調に推移したが、前期より実施している電源事業の構造改善に伴う棚卸資産の評価下げなどにより売上原価が悪化し、前期比増収、減益となった。

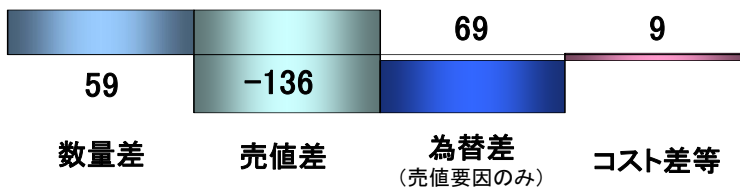
・電子材料系事業

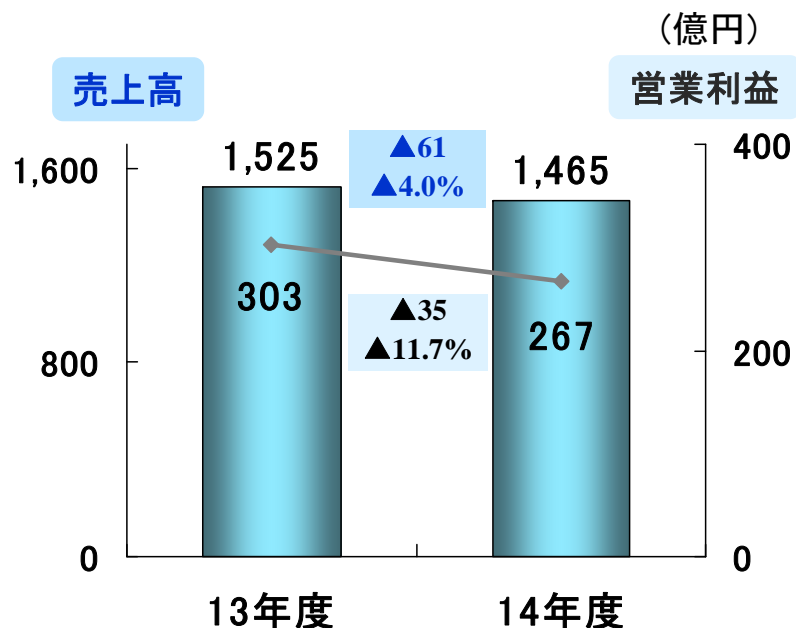
リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」の販売価格が下落したものの、円安の効果に加え、各製品において高機能製品を中心に販売が順調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

売上高増減分析

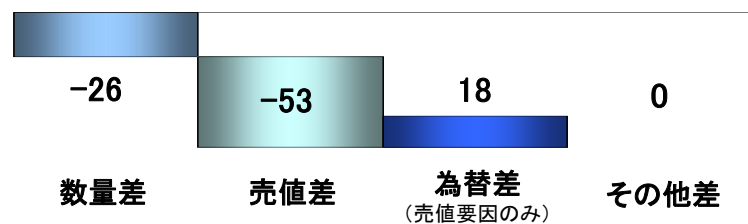


営業利益増減分析

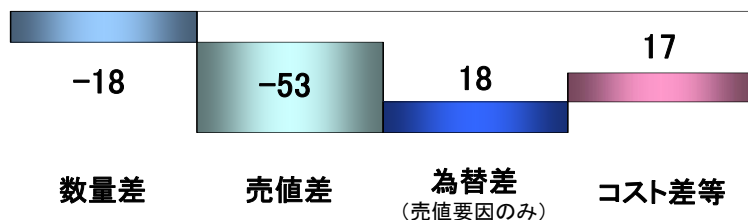




売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・医薬事業

既存医薬品において薬価改定による価格下落の影響を受けたことや、消費税増税前の駆け込み需要の反動により骨粗鬆症治療剤「テリボン」などの販売量が減少したことなどから、前期比減収、減益になった。

・医療事業

円安の効果に加え、透析関連製品やアフェレシス(血液浄化療法)関連製品の海外向けの販売が堅調に推移し、ウイルス除去フィルター「プラノバ」の販売量が増加したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・トロンボモジュリン製剤「リコモジュリン 点滴静注用12800」(一般名:トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))の原薬を製造する新棟を静岡県・富士市に建設することを決定。(5月)
- ・デュピュイトラン拘縮治療薬「ザイヤフレックス」について、国内での製造販売承認を申請。(7月)
- ・「テリボン」に関して、東亜ST(株)に韓国における独占的開発・販売権を供与するライセンス契約を締結。(12月)
- ・「プラノバ BioEX」の紡糸工場新設を決定。(3月)
- ・流動食事業からの撤退を決定。(2015年4月)

医薬・医療／売上高内訳

(億円)

		13年度			14年度		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬事業	国内医薬	408	414	822	381	371	752
	その他	33	26	58	24	30	54
	計	441	439	880	405	401	806
医療事業		317	328	645	327	332	659
医薬・医療 計		758	768	1,525	733	732	1,465

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

	13年度			14年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
テリボン	128	141	269	125	129	254
フリバス	70	72	142	65	67	132
リコモジュリン	59	67	126	55	61	117
エルシトニン	43	36	79	33	28	61
ブレディニン	32	31	63	28	27	56

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド 酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン: PTH)	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	注射剤
フリバス	ナフトピジル	α 1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	錠剤
リコモジュリン	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液 凝固症)	注射剤
エルシトニン注20S エルシトニン注20S ディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
ブレディニン	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、 ネフローゼ症候群、 ループス腎炎	錠剤

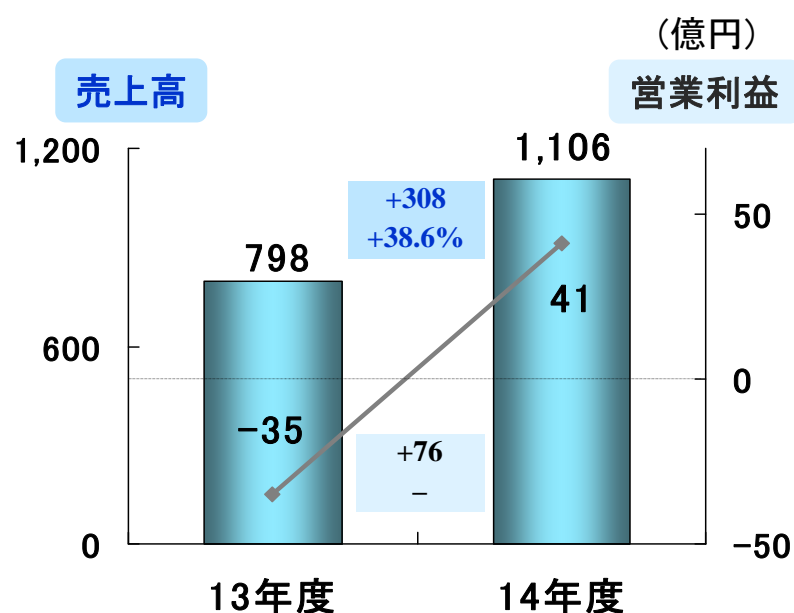
医薬／研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	区分	薬効・分類	適応症	自社/導入	備考
国内	申請中の品目	AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
	フェーズⅡの品目	HC-58注 (エルカトニン)	適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社	
海外	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
		HE-69 (ミゾリビン)	適応拡大	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	自社	
	フェーズⅡの品目	AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

クリティカルケア概況



<概況>

営業活動強化に伴う販管費が増加したが、着用型自動除細動器「LifeVest(ライフベスト)」の業績が引き続き順調に拡大し、その他の除細動器などの販売も堅調に推移したことから、増収、増益となった。

<トピックス>

- ・医療機関向け除細動器「R Series」の日本国内での製造販売承認を取得。(6月)
- ・呼吸管理機器メーカーである米国Impact Instrumentation社の実質的全資産を買収することで合意し、資産売買契約を締結。(10月)
- ・オランダRoyal Philips社の「InnerCool」体温管理システム事業と事業に関連する実質的全資産買収することで合意し、事業譲渡契約を締結。(11月)
- ・日本国内において血管内体温管理システム「サーモガード」の適応拡大の薬事承認を医薬品医療機器総合機構に申請。(11月)
- ・心肺蘇生補助デバイスの胸腔内圧制御機器の製造・販売を行う米国Advanced Circulatory Systems社の買収契約を締結。(12月)

<参考:クリティカルケア事業業績推移>

(億円)

	13年度			14年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高(連結)	375	423	798	481	625	1,106
事業利益	46	49	95	66	110	176
のれん償却額	-35	-36	-71	-37	-43	-79
無形固定資産償却額等	-31	-28	-59	-27	-29	-56
償却額合計	-66	-64	-130	-63	-72	-135
営業利益(連結)	-20	-15	-35	3	38	41

連結包括利益計算書

AsahiKASEI

(億円)

	13年度	14年度	増減
少数株主損益調整前当期純利益①	1,021	1,069	48
その他有価証券評価差額金	130	379	250
繰延ヘッジ損益	7	-15	-23
為替換算調整勘定	291	489	198
退職給付に係る調整額	-	171	171
持分法適用会社に対する持分相当額	12	51	39
その他の包括利益合計②	440	1,076	636
当期包括利益(①+②)	1,461	2,145	684

(内訳)

親会社株主に係る包括利益	1,450	2,122	672
少数株主に係る包括利益	11	23	12

40